date：2023 年 7 月 20 日

エコアクション２１

2022 年度版

環境経営活動レポート

《活動期間　2022 年 5 月～2023 年 4 月》

株式会社　リサイクルクリーン

袋井工場上空より撮影

リサイクルクリーンは、顧客満足、順法の精神、資源を守る心を誇りにし、あらゆる環境変化のなかで常に進化し続ける企業集団を目指します。

・ 顧客満足

常にお客様が喜んでくれるサービスを考え提供し続ける。

・ 遵法の精神

関係法令を遵守する。法律に背かない。

・ 資源を守る心

循環型社会構築へ向けて、リサイクル率の向上。

埋立、単純焼却の廃止

・ 常に進化し続ける企業集団

あらゆる変化に柔軟に対応する。

全社員が共に学習し、自らの能力を発揮する。

＜制定日　平成17年５月１日＞

静岡県浜松市天竜区二俣町二俣41

株式会社　リサイクルクリーン

代表取締役　藤城　太郎

1　組織の概要

1）会社名　　株式会社　リサイクルクリーン

代表取締役　　藤城　太郎

所在地　　〒431-3314　静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 41

TEL 053-925-1366　FAX 053-925-6030

HP　http//www.recycle-clean.co.jp

事業内容　　一般廃棄物（市町村委託、事業系）の収集運搬業、産業廃棄物の収集運搬・中間処理、RPF 固形燃料の製造業、不動産の売買・仲介及び賃貸業、建築工事・土木工事・建物解体工事業、再生資源卸売業、清掃業、再生骨材の販売、自動車小売業、損害保険代理業

設立　　昭和 62 年（1987 年）3 月 27 日

資本金　　8,200 万円

年間売上　　61.7 億円（2022 年度）

従業員　　316 名（2022 年 6 月末日現在）

敷地面積（全社）　66,696 ㎡　　延床面積（全社）　15,970 ㎡

事業規模

廃棄物処理量	一般廃棄物収集運搬量	6,968t/年（2022 年度）
	産業廃棄物収集運搬量	115,548t/年（2022 年度）
	感染性廃棄物収集運搬量	228t/年（2022 年度）
	産業廃棄物中間処分量	136,436t/年（2022 年度）
	紙類（段ボール、新聞、雑誌）収集量	9,009t/年(2022 年度)
	その他（空き缶、古着等）収集量	444t/年（2022 年度）

2）会社名　　エコテック　株式会社

代表取締役　　藤城　太郎

所在地　　〒503-0322　岐阜県海津市平田町土倉江東 478

TEL 0584-66-4781　FAX 0584-66-4791

事業内容　　コンピューターならびに周辺機器の回収及びそれに伴う資源再利用、技術に関するコンサルタントならびにシステム開発事業、装置・機械類の製造販売。
一般廃棄物並びに」産業廃棄物の処理。

設立　　平成 9 年 3 月 10 日

資本金　　3,000 万円

年間売上　　2.0 億円（2022 年度）

従業員　　17 名

敷地面積　　2,770 ㎡　　延床面積　　1,250 ㎡

事業規模

廃棄物処理量	産業廃棄物収集運搬量	270t/年(2022 年度)
	産業廃棄物中間処分量	365t/年（2022 年度）

環境管理責任者　袋井工場長　山田　知毅　　本部事務局長　営業部主任　鈴木　高史

連絡先　TEL 053-925-1366　FAX 053-925-6030

許可及び届出一覧

事業の範囲（(株)リサイクルクリーン 許可行政区域、許可番号、有効期限）

許可種類	県・市・町名	許可番号	許可年月日	有効期限
産業廃棄物処分業	静岡県	02222000340	R4.10.13	R11.10.12
	浜松市	06321000340	R4.10.9	R11.10.8
産業廃棄物収集運搬業	静岡県	02202000340	R4.12.2	R11.12.1
	愛知県	02300000340	R2.9.2	R7.5.18
	三重県	02400000340	R4.1.17	R8.11.16
	富山市	08505000340	R5..9.17	R12.9.16
	福井県	01801000340	R4.6.15	R11.6.6
	山梨県	01900000340	H31.2.1	R6.1.31
	岐阜県	02100000340	H31.2.12	R6.2.11
	神奈川県	01400000340	H31.3.11	R6.3.10
	長野県	2009000340	R1.5.27	R6.5.26
特別管理産業廃棄物収集運搬業	静岡県	02251000340	R4.12.2	R11.12.1
	愛知県	02350000340	R5.6.10	R12.6.9
一般廃棄物収集運搬業	浜松市	第33号	H31.4.1	R5.3.31
	磐田市	第18-01-025号	R4.4.1	R6.3.31
	袋井市	袋井市一廃許可第24号	R4.4.1	R6.3.31
	掛川市	掛環ご許可第 9-2 号　31 号	R3.9.22	R5.9.21
	御前崎市	御市環許可第 41-9 号	R4.1.29	R6.1.28
	藤枝市	藤環指第 1-19 号	R4.4.1	R6.3.31
	森町	森生還許可第10号	R4.4.1	R6.3.31

※色付きの枠は優良認定の許可証です。

事業の範囲（エコテック(株) 許可行政区域、許可番号、有効期限）

許可種類	県・市・町名	許可番号	許可年月日	有効期限
産業廃棄物処分業	岐阜県	02120053003	R4.10.9	R11.10.8
産業廃棄物収集運搬業	岐阜県	02100053003	R2.3.20	R7.3.19
	静岡県	02201053003	R5.3.2	R12.3.1
	愛知県	02300053003	R3.4.26	R8.4.25
	三重県	02400053003	R3.1.6	R7.12.25
	富山県	01601053003	R1.12.4	R6.12.3
	石川県	01709053003	R2.2.26	R7.2.25
	福井県	01805053003	H30.8.20	R5.8.19
	滋賀県	02501053003	R3.5.10	R8.5.9
	長野県	2009053003	R3.9.21	R8.9.20

※色付きの枠は優良認定の許可証です。

リサイクルクリーン

(株)リサイクルクリーン行政区域別収集運搬取扱品目一覧

許可品目	静岡県	愛知県	三重県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	神奈川県	富山市	浜松市	磐田市	袋井市	森町	掛川市	御前崎市	藤枝市
一般廃棄物										●	●	●	●	●	●	●
廃プラスチック類	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
紙くず	●	●	●	●	●	●	●	●								
木くず	●	●	●	●	●	●	●	●								
金属くず	●	●	●		●	●	●	●								
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	●	●	●		●	●	●	●								
がれき類	●	●	●		●	●	●	●								
繊維くず	●	●	●	●	●	●	●	●								
燃え殻	●															
汚泥	●															
廃油	●															
廃酸	●															
廃アルカリ	●															
動植物性残さ	●															
鉱さい	●															
ばいじん	●															
ゴムくず	●															
感染性産業廃棄物	●	●														
引火性廃油	●															
腐食性廃酸	●															
腐食性廃アルカリ	●															
特定有害廃酸※1	●															
特定有害ハイアルカリ※2	●															

廃プラスチック類～ゴムくず（青の塗りつぶし）＝産業廃棄物

感染性産業廃棄物、引火性廃油（黄色の塗りつぶし）＝特別管理産業廃棄物

※1　カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物
砒素又はその化合物、セレン又はその化合物を含むものに限る

※2　シアン化化合物を含むものに限る

エコテック(株)　行政区域別収集運搬取扱品目一覧

許可品目	静岡県	愛知県	三重県	福井県	滋賀県	長野県	岐阜県	石川県	富山県
廃プラスチック類	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金属くず	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	●	●	●	●	●	●	●	●	●

産業廃棄物処分業（中間処理）詳細

品目名	許可施設設置工場（処理方法）								
	第一	第二	大川	袋井	袋井 RPF	岡部	磐田	桜台	エコテック(株)
廃プラスチック類	破砕	破砕	破砕 圧縮 溶融固化	破砕 圧縮 切断 溶融固化	固形燃料製造	破砕 圧縮	―	破砕 溶融固化 圧縮	破砕
紙くず	破砕	破砕	破砕 圧縮 溶融固化	破砕 圧縮	固形燃料製造	破砕 圧縮	―	破砕 溶融固化 圧縮	－
木くず	破砕	破砕	破砕 溶融固化	破砕	固形燃料製造	破砕 圧縮	―	破砕 溶融固化	－
繊維くず	破砕	破砕	破砕 圧縮 溶融固化	破砕 圧縮 切断	固形燃料製造	破砕 圧縮	―	破砕 溶融固化 圧縮	－
金属くず	破砕	破砕	破砕	破砕 圧縮	－	破砕 圧縮	－	破砕	破砕
ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	破砕	破砕	破砕	破砕	－	破砕	破砕	破砕	破砕
がれき類	破砕	破砕	破砕	破砕	－	破砕	破砕	破砕	－
汚泥	－	－	※溶融固化	－	－	－	改質固化		－
動植物性残さ	－	－	溶融固化	－	固形燃料製造	－	―	溶融固化	－

※大川工場の汚泥は日本たばこ産業のたばこカプセルに限る。磐田工場の汚泥は建設汚泥に限る。

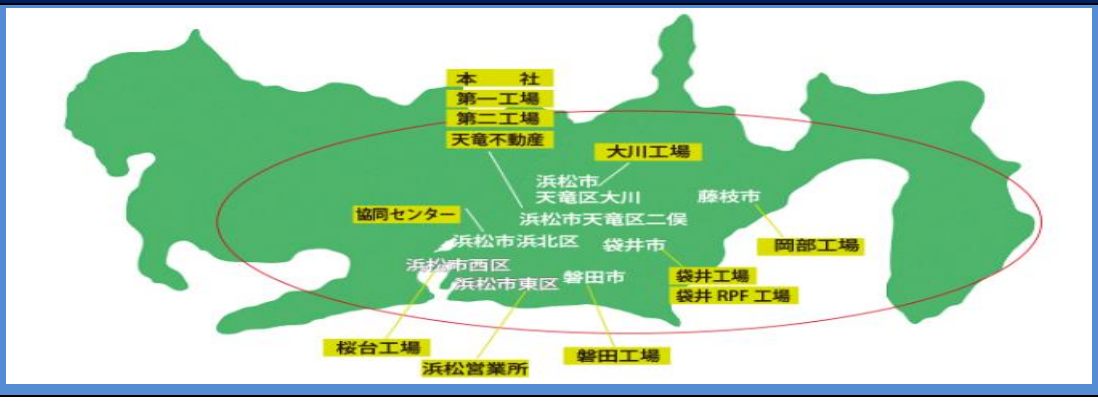
工場別廃棄物保管量

工場名	中間処理前保管量	中間処理後保管量
第一工場	549.50 ㎥	518.00 ㎥
第二工場	658.00 ㎥	80.00 ㎥
大川工場	1565.92 ㎥	757.90 ㎥
磐田工場	2868.30 ㎥	2946.70 ㎥
岡部工場	1330.00 ㎥	588.00 ㎥
袋井工場	554.00 ㎥	583.84 ㎥
袋井 RPF 工場	686.75 ㎥	192.15 ㎥
桜台工場	1904.02 ㎥	330.00 ㎥
エコテック(株)	55.00 ㎥	47.00 ㎥
合計	10129.49 ㎥	6023.59 ㎥

産業廃棄物処理能力一覧表

事業所	施設名	品目（廃棄物の種類）　単位t／日								
		廃ﾌﾟﾗ	紙くず	木くず	繊維	金属	ｶﾞﾗ陶	がれき	汚泥	動残
第一	破砕	4.2	2.94	4.64	3.09	6.99	18.14	4.97		
	破砕						17.6			
第二	破砕	4.78	5.13	8.19	13.6	12.56	39.49	15.01		
大川	圧縮	323.04	350.4		350.4					
	破砕	68.9	137.8	160.8	137.8	459.4	344.6	413.5		
	破砕	73.39	21.55	66.28	15.4	133.44	204.6	264.64		
	破砕（蛍光灯）	4.377				4.377	4.377			
	溶融固化	26.2	28.1	24.7	27.6				※25.2	25.2
桜台	圧縮	486.96	486.96		486.96					
	破砕	73.39	21.55	66.28	15.4	133.44	204.6	264.64		
	破砕	108.48	108.48	108.48	10872					
	溶融固化	78.24	77.04	76.64	74.88					76.08
磐田	破砕						108.8	256.0		
	改質固化								9.93	
岡部	圧縮	148.16	97.68	95.2	87.44	79.44				
	破砕	45.7	45.7	70.6	95.5	124.6	207.6	481.6		
	破砕	3.85	3.24	4.12	5.15	5.34	10.86			
袋井	圧縮	148.16	97.68		87.44	79.44				
	破砕	69.3	69.3	107.0	144.8	188.9	314.8	730.3		
	破砕	21.7	30.4	63.8	36.4	59.3	138.3	229.2		
	溶融固化	0.33								
	切断	16.30			5.80					
袋井 RPF	固形燃料製造破砕	172.80	168.24	172.80	169.68					168.24
	固形燃料製造圧縮固化	169.92	168.48	168.48	168.48					168.48
エコテック(株)	破砕					640	640			
	破砕	560								
	破砕						2			
	破砕	1.42								

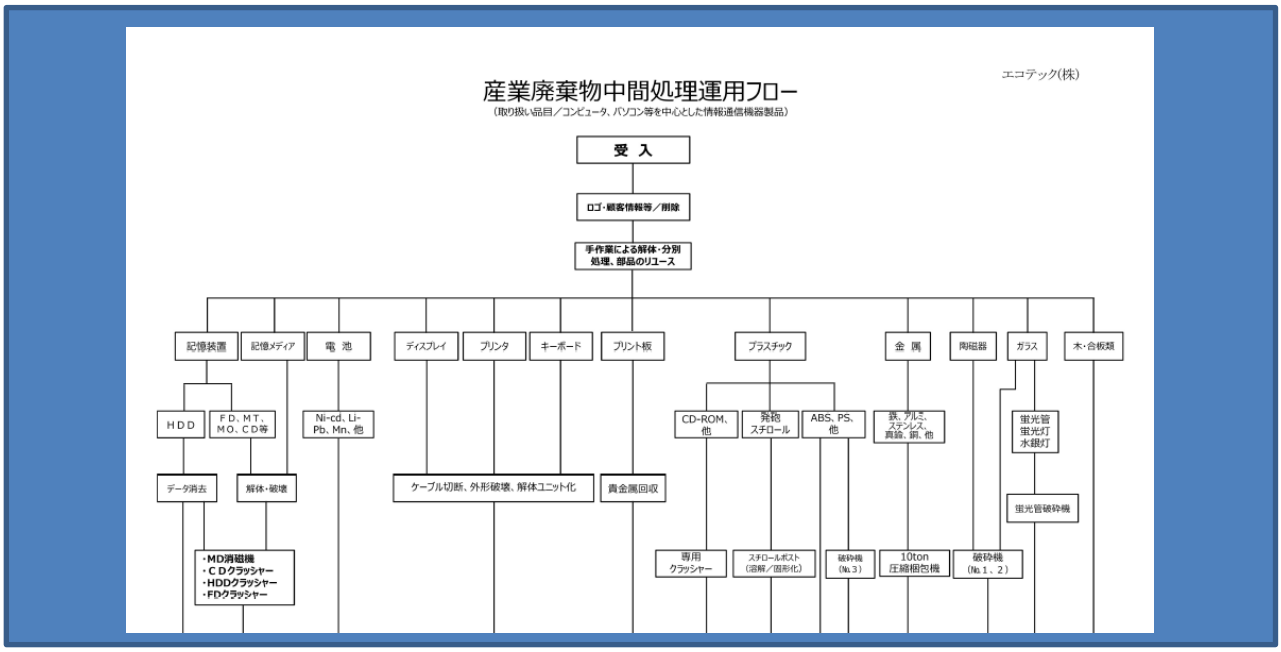
(株)リサイクルクリーンの営業範囲は静岡県と愛知県東部（三河エリア）となります



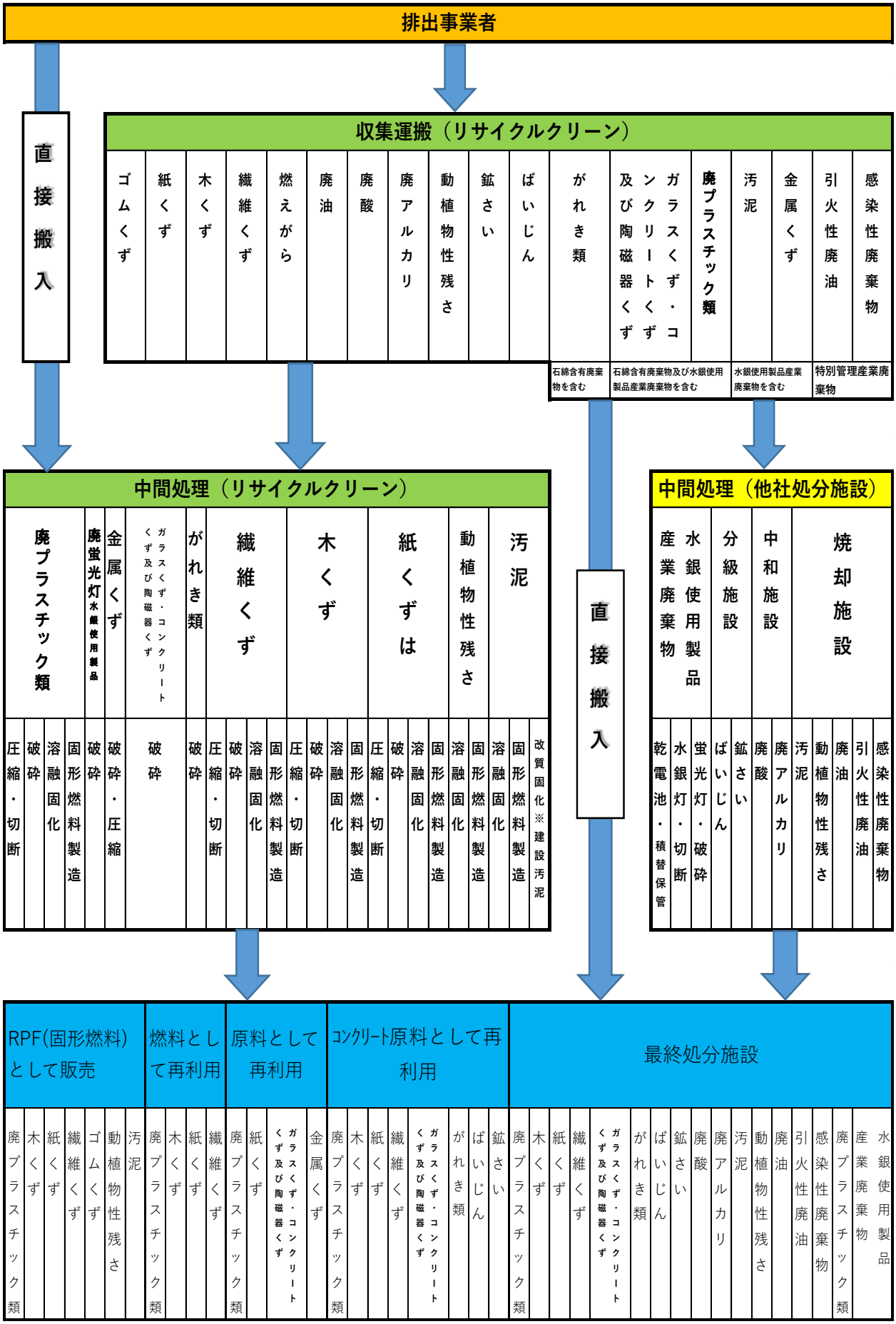
登録車両台数表（利用目的別車両保有台数一覧）

車体の形状	積載量	登録台数	使用制限
キャブオーバ （移動式クレーン車）	10トン	1 台	なし
	6トン	4 台	なし
	4トン	34 台	なし
キャブオーバ （平ボディ車）	1トン（貨物車）	3 台	なし
	2トン	6 台	なし
	3トン	1台	なし
	軽トラック	2 台	なし
脱着装置付コンテナ専用車 （F ロール車）	10トン	3 台	なし
	4トン（大型ｼｬｰｼ）	5 台	なし
	4トン	20 台	なし
	2トン	4 台	なし
コンテナフルトレーラ	10 トン	1 台	なし
ダンプ	10トン	3台	なし
	2トン	2台	なし
塵芥車（パッカー）	4トン（産廃用）	5 台	なし
	2トン（産廃用）	10 台	なし
	2トン（一廃用）	14 台	なし
	浜松市受託車両	22 台	なし
冷蔵冷凍車	2トン	2 台	なし
ステーションワゴン他 （営業車）		33 台	なし
エコテック(株) ワゴン車		1 台	なし
エコテック(株) バン	3トン	1 台	なし
エコテック(株) バン	4トン	1 台	なし

エコテック(株) (株)リサイクルクリーン 産業廃棄物処理工程図



リサイクルクリーン廃棄物処理工程図



2　レポートの対象期間、発行日及び対象範囲

①　レポート対象期間及び発効日

対象期間　２０２２年５月１日～２０２３年４月３０日　発行日　２０２２年６月２０日

②　対象範囲（対象の事業所）

本社工場　〒431-3314　静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 42-1（第一・第二工場）
敷地面積　5,164 ㎡　延床面積　1,105 ㎡　従業員数　19 名　所属車両台数 19 台
産廃処分量　762t/2022 年度　処分方法：破砕

大川工場　〒431-3755　静岡県浜松市天竜区大川 457-15
敷地面積　9,606 ㎡　延床面積　3,250 ㎡　従業員数　62 名　　所属車両台数 40 台
産廃処分量　6,107t/2022 年度　処分方法：破砕、圧縮、溶融固化　＊RPF生産工場
一廃収集運搬量　889t/2022 年度

磐田工場　〒438-0002　静岡県磐田市大久保 729-1
敷地面積　6,580 ㎡　延床面積　―　　従業員数　7 名　所属車両台数　3 台
産廃処分　56,727t/2022 年度　処分方法：破砕、改質固化　*再生砕石販売施設

岡部工場　〒421-1102　静岡県藤枝市岡部町宮島 963
敷地面積　9,606 ㎡　延床面積　3250 ㎡　従業員数　43 名　所属車両台数　16 台
産廃処分量　8,752t/2022 年度　処分方法：破砕、圧縮　　一廃収集運搬量　17t/2022 年度

袋井工場　〒437-0011　静岡県袋井市村松 1553-9
敷地面積　19,372 ㎡　延床面積　4,594 ㎡　従業員数　44 名　所属車両台数　16 台
産廃処分量　15,657t/2022 年度　処分方法：破砕、圧縮、切断、溶融固化
一廃収集運搬量　1,084t/2022 年度

袋井 RPF 工場　〒437-0011　静岡県袋井市村松 1553-9
延床面積　※1853 ㎡（袋井工場敷地内に新設）　従業員数　10 名
固形燃料製造量　27,148t/2022 年度　処理方法：固形燃料製造（破砕　圧縮固化）

桜台工場　〒431-1104　静岡県浜松市西区桜台 5-108-4
敷地面積　6,260 ㎡　延床面積　2,250 ㎡　従業員数　40 名　所属車両台数　16 台
廃棄物処理量　4,897t/年（2022 年度）　処分方法：破砕、圧縮、溶融固化　＊RPF生産工場

浜松営業所　〒431-3115　静岡県浜松市東区西ヶ崎 1001-1
敷地面積　　3,412 ㎡　延床面積　　2,197 ㎡　従業員数　42 名　所属車両台数　33 台
一廃収集運搬 6,565t/2022 年度　ダンボール等リサイクル資源物の収集

協同センター　〒434-0015　静岡県浜松市浜北区於呂 4000-1
敷地面積　1.367 ㎡　延床面積 21 ㎡　従業員数　2 名　新車中古車販売

管理・不動産部　〒431-3314　静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 1534-10
敷地面積　324.27 ㎡　　延床面積　55.48 ㎡　従業員数　2 名　所属車両台数　1 台

営業部、事務部　〒431-1103　静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 41（第一工場敷地内）
従業員数　32 名　所属車両台数　24 台

営業部解体班　　〒431-1103　静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 41（第一工場敷地内）
従業員数　8 名　所属車両台数　9 台　解体工事の施工

エコテック(株)　　〒503-0322　岐阜県海津市平田町土倉江東 478
敷地面積　2,770 ㎡　延床面積 1,250 ㎡　従業員数　17 名　所属車両台数　4台
産廃処分量　365t/2022 年度　PC、PC 機器廃材の解体、リサイクル

3　環境経営方針

環境経営方針

当社は、静岡県の企業及び市町村等を中心に多数の顧客を有し、一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬・中間処理及びリサイクル関連事業を営んでいます。これらの活動を行う企業として、「地球環境の保全」が人類共通の課題であることを認識し、企業活動のあらゆる面で「地球環境保護」に配慮した事業活動を展開します。

1　事業活動に係わる環境影響を認識し、技術的・経済的に可能な範囲で環境経営目標及び環境経営計画を定め、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る

2　環境関連法規及び当社が同意したその他の要求事項を遵守するとともに、必要に応じて自主管理基準を設定し、維持管理を行う。

3　当社は、環境経営方針を達成するために、「守ろう環境、生かそう資源のリサイクル」をスローガンに、事業活動が与える環境影響の中で、次の項目を重点に環境マネジメント活動を行い、定期的に見直しを実施する。

1）循環型社会構築に寄与する為、受託した廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率向上に努めます。数値目標を定め、継続的改善を図り、その結果を開示いたします。

2）事業活動で生じる二酸化炭素排出量及び水使用量の削減に取り組みます。
省エネ、省資源活動を推進します。

3）地域環境保全に有効な、森林保護育成を目指し、ボランティア活動を実践します。

4.　環境教育の充実を図り、全員参加で取組む。(全従業員及び当社のために働く全ての人に環境経営方針を周知する)

5.　周辺美化運動等により地域環境保全活動に積極的に取組み、住民とのコミュニケーシを大切にする。

制定日平成 23 年 5 月 1 日
改定日令和　3 年 5 月 1 日(Ver3)

株式会社リサイクルクリーン

代表取締役　藤城　太郎

実施体制

当社はエコアクション２１環境経営システムを構築、運用、維持し、環境への取組を実施するために効果的な実施体制を構築する。実施体制は「(株)リサイクルクリーン　エコアクション２１組織図」に示し、各自の役割、責任及び権限を定め全従業員に周知する。

＊社長

① 環境経営方針を策定する。
② 責任者を選任するとともに、各要員、所定の技能･技術、資金の経営資源を確保する。
③ エコアクション２１環境経営システム推進体制を策定する。
④ 環境経営システムの見直しを行う。
⑤ 緊急事態発生時における対応処理の統括的な指揮をとる。
⑥ 「環境マネジメントマニュアル」、「全社環境経営目標」、「全社/部門経営計画」を承認する。
⑦ 「全社環境経営目標」、「全社/部門環境経営計画」の定期策定、見直しを指示し承認する。
⑧ 内部監査チームリーダー/内部監査委員を任命し、内部環境監査の実施を指示する。

＊環境管理責任者（副環境管理責任者）

① エコアクション２１:２０１７年版（産業廃棄物処理業者向けガイドライン）規格の要求事項に適合した環境経営システムを確立、実施、維持及び管理を行う。
② 見直し及び環境経営システムの改善の基礎として、社長に環境経営システムの実績を報告する（全社エコアクション２１推進会議を毎月一回開催する)。
③ 「環境への負荷の自己チェック」を策定する。
④ 「環境への取組の自己チェック」を策定する。
⑤ 「法規制等登録一覧」を策定する。
⑥ 「全社環境経営目標」及び「全社環境経営計画」を策定し、達成の責任を持つとともに、その項目の監視、測定及び不適合の場合の是正及び予防処理を行う。
⑦ 部門長が策定した部門の「部門環境経営計画」を審査する。
⑧ 社内外のコミュニケーションの総括的な責任を負う。
⑨ 「環境マネジメントマニュアル」を作成するとともに、環境経営システムの各文書の整備を指示する
⑩ 関連会社への周知、協力の要請等を行う。
⑪ 緊急事態発生時における対応処置の指揮をとる。(社長が不在の時は、責任者が代行する)。
⑫ 全社に係る環境教育訓練の計画立案及び管理者教育を実施する。

＊本部事務局長（副本部事務局長）

① 環境経営システム文書の作成、管理を行う。
② 環境経営システムの構築及び維持管理に関する事務局、並びに責任者の補佐を行う。
③ 「全社エコアクション２１推進会議議事録」を作成する。

＊部門長

① 責任者が策定する「環境への負荷の自己チェック」の調査に協力する。
② 責任者が策定する「環境への取組の自己チェック」の調査に協力する。
③ 環境関連法規等の対応を実施する。
④ 「部門環境経営計画」を策定し、達成の責任を持つとともに、その項目の監視、測定及び不適合の場合の是正及び予防処置を行う。
⑤ 部門エコアクション推進会議を月一回開催する。
⑥ 環境に関する一般教育（新入社員教育を含む）の計画立案及び教育を実施する。
⑦ 緊急事態への準備及び対応並びに緊急事態発生時における対応処理の指揮をとる。

＊内部環境監査チームリーダー（略称：内部環境監査 TL）

① 内部監査実施計画を作成し、社長の承認を得る。

② 内部監査結果を社長に報告する。

③ 指摘事項の是正処置結果を確認する。

④ 推進会議にて監査結果を報告する。

＊内部監査員

① 内部環境監査 TL の指示に従い、「内部環境監査チェックリスト」に基づき、監査を行う。

＊部門事務局リーダー（兼副部門長）

① 部門長を代行し、部門の環境経営システムを推進する。

② 緊急事態発生時における対応処置の指揮をとる。（部門長不在時は代行する）。

＊部門事務局サブリーダー

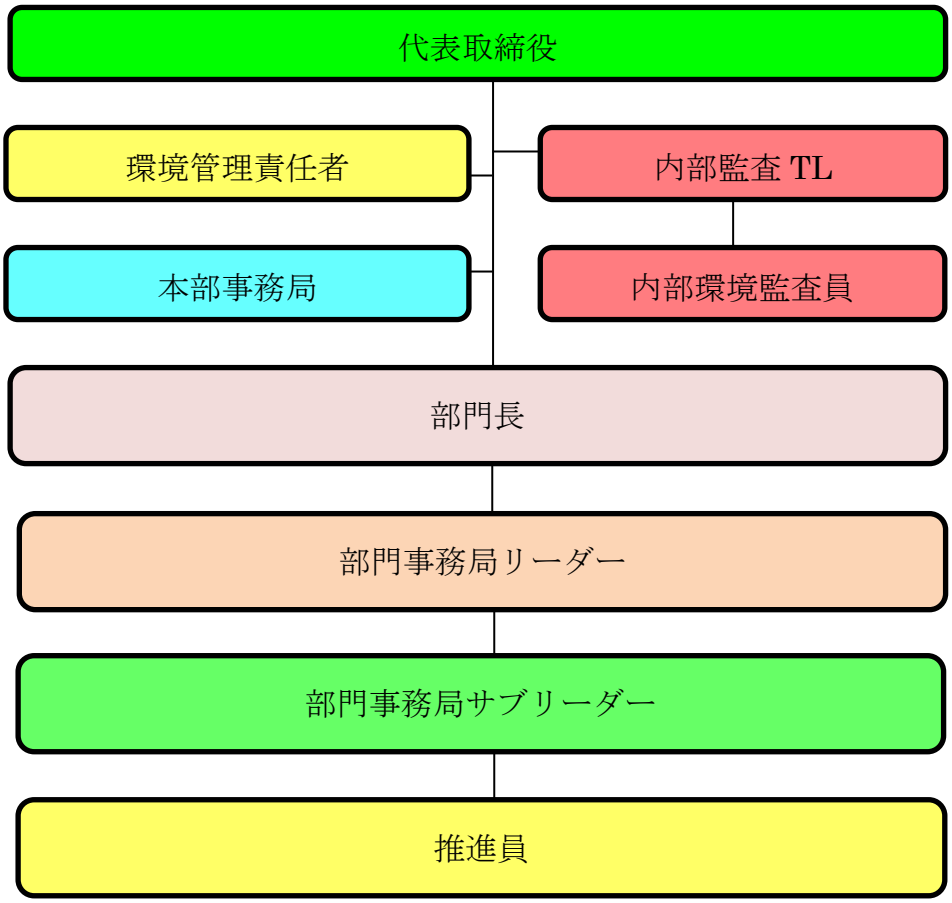
① 部門事務局リーダーを補佐し、部門の環境経営システムを推進する。

② 部門エコアクション２１推進会議の議事録を作成する。

＊推進員

① 部門の環境経営システムを推進する。

エコアクション組織図 **2016.5.1**



4　環境経営目標　**環境経営目標数値の中期３ヵ年目標①**

◆項目の用語について◆

・電気使用率　→　廃棄物出荷量1m3 に対する電気使用量（工場が対象）・ガソリン燃費　→　燃料1リットルあたりの車両の走行距離
・軽油燃費（車両）　→　燃料1リットルあたりの車両の走行距離　・軽油燃費（重機）　→　燃料1リットルあたりの重機の稼働時間

事業所	項目	2023 年度目標		2024 年度目標		2025 年度目標	
全社	電気使用量（営業事務）	130,228	kwh	130,097	kwh	129,967	kwh
	電気使用率（工場）	52.0	kWh/t	51.9	kWh/t	51.8	kWh/t
	ガソリン燃費	20.6	Km/L	20.6	Km/L	20.6	Km/L
	軽油燃費（車両）	5.4	Km/L	5.4	Km/L	5.4	Km/L
	軽油燃費（重機）	0.18	h/L	0.18	h/L	0.18	h/L
	LPG使用量	116	m3	116	m3	116	m3
	CO2 排出量	6,199	t	6,193	t	6,187	t
	水使用量	12,743	m3	12,730	m3	12,705	m3
	リサイクル率	88.0	%	88.0	%	88.0	%
	リサイクル率（エコテック）	94.0	%	94.0	%	94.0	%
	森林保護活動	2	回	2	回	2	回
	グリーン購入法の推進	グリーン購入の推進と再生材（砕石、木製品等）の使用					
	環境に配慮した施工	工事施工時低騒音型重機、排ガス規制対応重機を使用					
営業・事務	電気使用量	57,129	kwh	57,072	kwh	57,015	Kwh
	ガソリン燃費	21.8	Km/L	21.8	Km/L	21.8	Km/L
	LPG使用量	9.0	m3	9.0	m3	9.0	m3
	CO2排出量	76.1	t	76.0	t	76.0	t
本社工場（第一・第二工場）	電気使用率	37.2	kWh/t	37.2	kWh/t	37.1	kWh/t
	軽油燃費（車両）	3.8	Km/L	3.8	Km/L	3.8	Km/L
	軽油燃費（重機）	0.25	h/L	0.25	h/L	0.25	h/L
	CO2排出量	226	t	226	t	226	t
	水使用量	310	m3	310	m3	309	m3
	リサイクル率	76.9	%	76.9	%	76.9	%
大川工場	電気使用率	69.5	kWh/t	69.4	kWh/t	69.3	kWh/t
	軽油燃費（車両）	6.4	Km/L	6.4	Km/L	6.4	Km/L
	軽油燃費（重機）	0.23	h/L	0.23	h/L	0.23	h/L
	LPG使用量	0.3	m3	0.3	m3	0.3	m3
	CO2排出量	845	t	844	t	843	t
	水使用量	2,849	m3	2,846	m3	2,843	m3
	リサイクル率	70.2	%	70.2	%	70.2	%
磐田工場	電気使用率	1.6	kWh/t	1.6	kWh/t	2.1	kWh/t
	軽油燃費（車両）	3.3	Km/L	3.3	Km/L	3.3	Km/L
	軽油燃費（重機）	0.10	h/L	0.10	h/L	0.10	h/L
	LPG使用量	0.8	m3	0.8	m3	0.8	m3
	CO2 排出量	263	t	263	t	262	t
	水使用量	994	m3	993	m3	992	m3

環境経営目標数値の中期３ヵ年目標②

事業所	項目	2023 年度目標		2024 年度目標		2025 年度目標	
岡部工場	電気使用率	18.7	kWh/t	18.7	kWh/t	18.7	kWh/t
	軽油燃費（車両）	5.9	Km/L	5.9	Km/L	5.9	Km/L
	軽油燃費（重機）	0.19	h/L	0.19	h/L	0.19	h/L
	LPG使用量	4.4	m3	4.4	m3	4.4	m3
	CO2排出量	475	t	475	t	474	t
	水使用量	254	m3	254	m3	253	m3
	リサイクル率	76.7	%	76.7	%	76.7	%
袋井工場	電気使用率	36.1	kWh/t	36.1	kWh/t	36.0	kWh/t
	軽油燃費（車両）	6.2	Km/L	6.2	Km/L	6.2	Km/L
	軽油燃費（重機）	0.15	h/L	0.15	h/L	0.15	h/L
	LPG使用量	27	m3	27	m3	27	m3
	CO2 排出量	635	t	634	t	633	t
	水使用量	704	m3	703	m3	703	m3
	リサイクル率	63.5	%	63.5	%	63.5	%
袋井RPF工場	電気使用率	234	kWh/t	234	kWh/t	234	kWh/t
	軽油燃費（重機）	0.17	h/L	0.17	h/L	0.17	h/L
	LPG 使用量	13	m3	13	m3	13	m3
	CO2 排出量	1601	t	1599	t	1597	t
	水使用量	3603	m3	3600	m3	3596	m3
桜台工場	電気使用率	128	kWh/t	128	kWh/t	128	kWh/t
	軽油燃費（車両）	5.5	Km/L	5.5	Km/L	5.5	Km/L
	軽油燃費（重機）	0.24	h/L	0.24	h/L	0.24	h/L
	LPG 使用量	39	m3	39	m3	39	m3
	CO2 排出量	1,414	t	1,412	t	1,410	t
	水使用量	2,665	m3	2,662	m3	2,660	m3
	リサイクル率	83.5	%	83.5	%	83.5	%
浜松営業所	電気使用率	21.5	kWh/t	21.5	kWh/t	21.5	kWh/t
	軽油燃費（車両）	4.7	Km/L	4.7	Km/L	4.7	Km/L
	軽油燃費（重機）	0.27	h/L	0.27	h/L	0.27	h/L
	LPG使用量	9.5	m3	9.5	m3	9.5	m3
	CO2 排出量	470	t	470	t	469	t
	水使用量	494	m3	494	m3	493	m3
協同C	電気使用量	13,0811	kwh	13,068	kwh	13,054	kwh
	CO2 排出量	5.0	t	5.0	t	5.0	t
	水使用量	72	m3	72	m3	72	m3

環境経営目標数値の中期３ヵ年目標③

事業所	項目	2023 年度目標		2024 年度目標		2025 年度目標	
不動産部	電気使用量	2,402	kwh	2,399	kwh	2,397	kwh
	ガソリン燃費	20.1	Km/L	20.1	Km/L	20.1	Km/L
	CO2 排出量	2.3	t	2.3	t	2.3	t
	水使用量	25	m3	25	m3	25	m3
解体班	ガソリン燃費	13.6	Km/L	13.6	Km/L	13.6	Km/L
	軽油燃費（重機）	5.7	Km/L	5.7	Km/L	5.7	Km/L
	軽油燃費（重機）	0.10	h/L	0.10	h/L	0.10	h/L
	CO2 排出量	95	t	95	t	95	t
	グリーン購入法の推進	グリーン購入の推進と再生材（砕石、木製品等）の使用					
	環境に配慮した施工	工事施工時低騒音型重機、排ガス規制対応重機を使用					
エコテック(株)	電気使用量	57,746	kwh	57,668	kwh	57,631	kwh
	ガソリン燃費	10.6	Km/L	10.6	Km/L	10.6	Km/L
	軽油燃費（車両）	5.3	t	5.3	t	5.3	t
	CO2 排出量	42	t	42	t	42	t
	リサイクル率	94	%	94	%	94	%

＜二酸化炭素排出量算出係数＞

電気→0.382(kg-CO2/kWh) ←㈱中部電力 2022 年度調整後排出係数

ガソリン→2.322(kg-CO2/MJ) 軽油→2.619(kg-CO2/MJ)　LPG→6.214(kg-CO2/MJ)

Solar power

太陽光パネル、順調に稼働中

都田発電所 1

都田発電所 2

都田発電所北側

袋井工場

袋井 RPF 工場

桜台工場

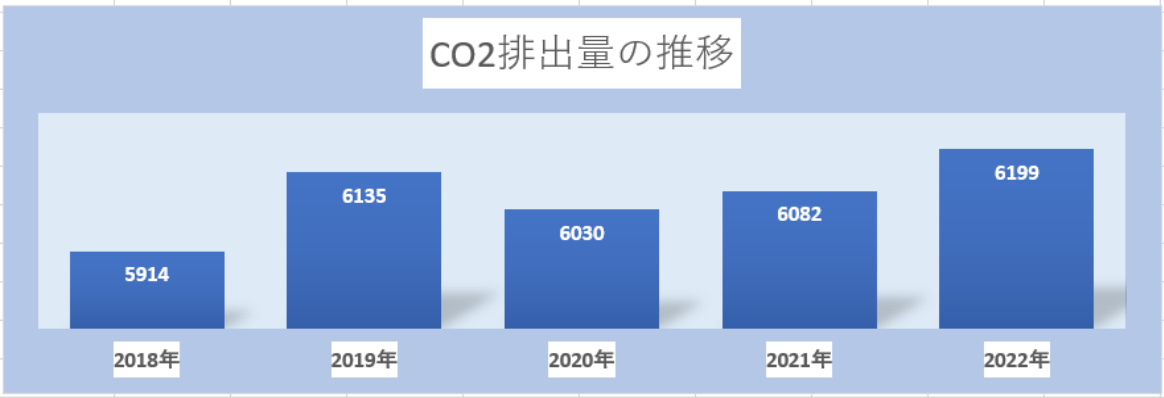
発電量、二酸化炭素削減量は当社ホームページにてリアルタイムでご覧いただけます

ご来訪をお待ちしております。

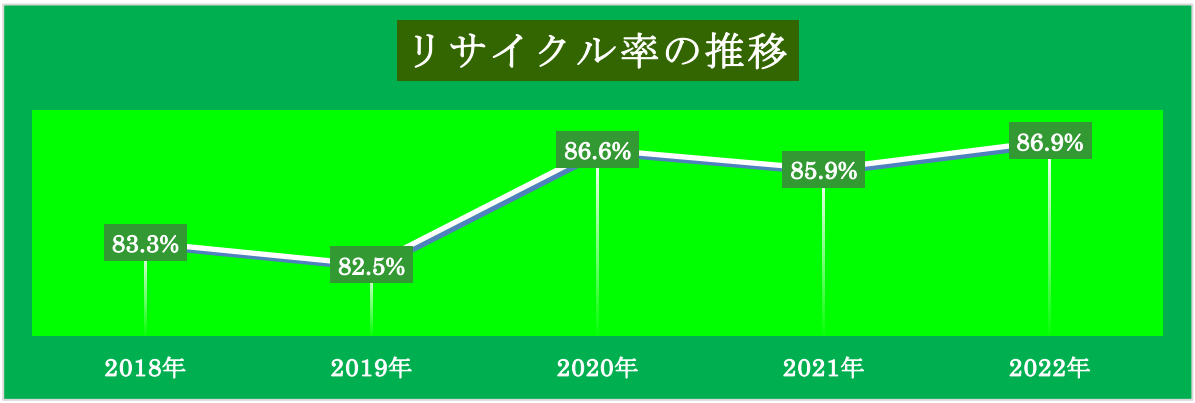
こちらから http://www.recycle-clean.co.jp/

5 環境経営計画の内容と取組結果の評価①

環境経営計画の内容	評価	次年度
1 二酸化炭素総排出量の削減 （ア）燃費の向上 エコドライブの実践、 作業効率アップ。 解体現場重機等の燃費向上。	① アイドリングストップの実践 作業手順を工夫し効率化	継続
（イ）電力使用量の削減 日中の点灯照明削減。 残業の削減。 空調温度設定の適正化。	② 日中の照明器点灯数を調整した 労務管理申請書の整備と運用により残業時間の把握をした。	継続

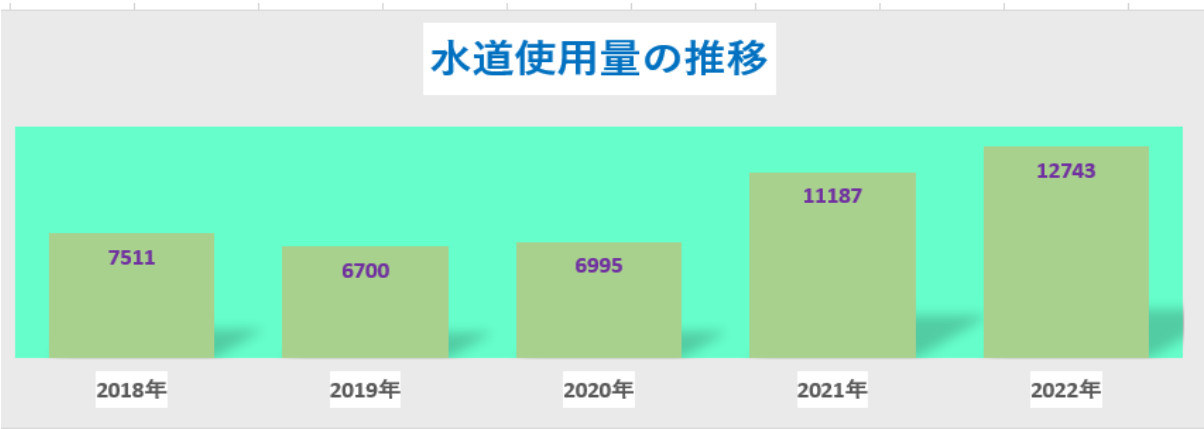


2 廃棄物のリサイクル率向上と維持 ① 従業員のコスト意識の向上 埋立処分及び焼却処分原価の周知により、原価意識の向上を図る。	（目標 88%に対し実績 86.6%） ① リサイクル率の一覧表を作成し、意識の向上に努めた。	継続
② 有価物の選別強化 選別ラインマニュアルの見直し。 人員配置の再考。	② 人事異動、役割変更を行い、適正化を進めた。	継続
③ リサイクル対象品の再確認 ④ 写真、実物などで具体的に対象品を示すことで認知度を向上させる。 ⑤ 分別解体によるリサイクル率 UP	③ RPF 原料のパンフレット等を作成し周知に努めた。	継続
⑥ 不適合品の返却	⑥ 工場、営業担当が連携し処理	継続



5 環境経営計画の内容と取組結果の評価②

3 総排水量の削減 ① 節水の呼びかけ。 会議、朝礼時の周知 ② 具体的な手段、計画 散水計画の立案と実施	① 会議、朝礼等で呼びかけを行った ② 空気乾燥期に計画的に散水	継続 継続



4 森林保護育成活動の推進 ① 育成活動実行計画策定 本年度実施計画、年2回 ② 参加の呼びかけ	① 年 1 回実施 21 名参加 （春は社会情勢で中止） （秋は 21 名参加 11/6 実施） 社会情勢で参加者を絞り実施 ② 朝礼、社内報等で周知。	継続 継続

「森づくり C.S.R.トラスト(静岡県西部森づくり C.S.R.協働推進協議会)」に加盟をして、「プレンテイアの森」を主催しています。（年 2 回実施）

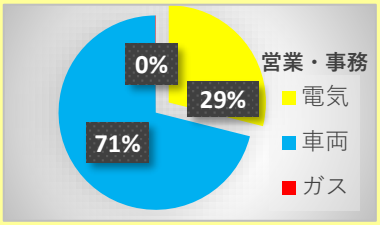
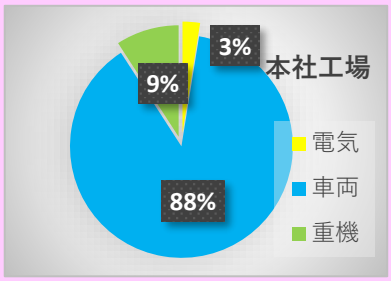
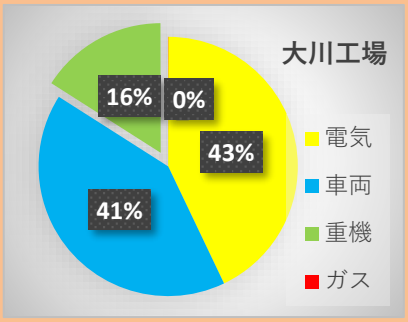
5 グリーン購入法の推進 ① 用具、備品は対象品を購入 ② 再生材、再生砕石を使用	① 優先購入している ② 再生材、再生砕石を利用している	継続
6 環境に配慮した施工 ① 低騒音重機、低公害重機の使用	① 利用している。	継続

6　環境経営目標数値の実績と評価

＊〇＝計画通り　　×＝未達成　　表6―1

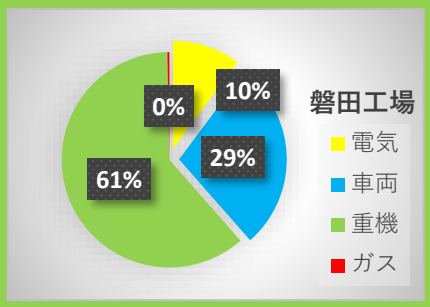
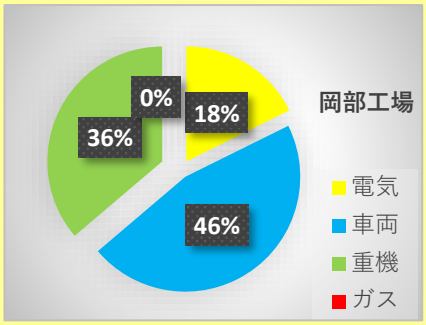
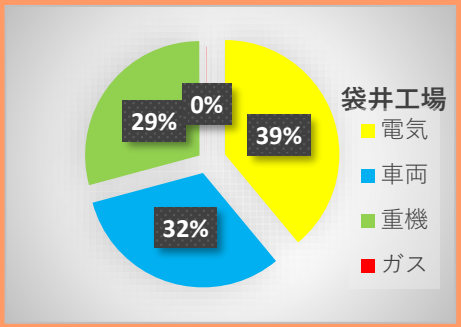
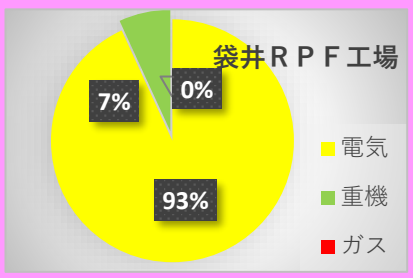
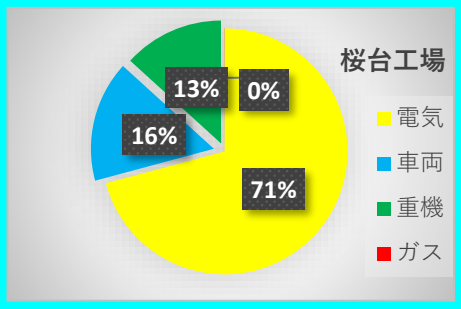
事業所	項目	2022 年度目標		2022 年度実績		評価
全社	電気使用量（営業事務）	137,666	kWh	130,358	kWh	〇
	電気使用率	60.3	kWh/t	76.5	kWh/t	×
	トータル購入電気量	8,415,129	Kwh	8,283,458	Kwh	〇
	ガソリン燃費	20.2	km/L	20.6	km/L	〇
	軽油燃費（車両）	5.3	km/L	5.4	km/L	〇
	軽油燃費（重機）	0.18	h/L	0.18	h/L	〇
	LPG使用量	108	m3	116	m3	×
	CO2 排出量	6,082	t	6,199	t	×
	カーボンオフセット	（プレンティアの森）		2	t	
	差引後排出量			6,197	t	
	リサイクル率	88.0	%	86.9	%	×
	水使用量	7,188	m3	8,635	m3	×
	森林保護活動	2	回	1	回	×
	グリーン購入法の推進	グリーン購入の推進と再生材（砕石、木製品等）の使用			随時	〇
	環境に配慮した施工	工事施工時低騒音型重機、排ガス規制対応重機を使用			随時	〇

部門別の**環境経営目標数値の実績と評価①**　　表6―2

事業所	項目	2022 年度目標		2022 年度実績		評価	二酸化炭素排出量シェア
営業・事務所	電気使用量	60,395	kWh	57,129	kWh	〇	
	ガソリン燃費	21.3	km/L	21.8	km/L	〇	
	LPG使用量	10.3	m3	9.0	m3	〇	
	CO2排出量	75.3	t	76.1	t	×	
	森林保護活動	2	回	1	回	×	
本社工場	電力使用率	37.2	kWh/t	43.1	kWh/t	×	
	軽油燃費（車両）	3.6	km/L	3.8	km/L	〇	
	軽油燃費（重機）	0.23	h/L	0.25	h/L	〇	
	CO2 排出量	314	t	226	t	〇	
	リサイクル率	75.3	%	76.9	%	〇	
	水道使用量	491	m3	310	m3	〇	
	森林保護活動	2	回	1	回	×	
大川工場	電力使用率	65.9	kWh/t	69.5	kWh/t	×	
	軽油燃費（車両）	6.3	km/L	6.4	km/L	〇	
	軽油燃費（重機）	0.19	h/L	0.23	h/L	〇	
	LPG使用量	1.1	m3	0.3	m3	〇	
	CO2 排出量	843	t	845	t	×	
	リサイクル率	67.9	%	70.2	%	〇	
	水使用量	2,224	m3	3,234	m3	×	
	森林保護活動	2	回	1	回	×	

部門別環境経営目標数値の実績と評価②

＊〇＝計画通り　×＝未達成　　表6－3

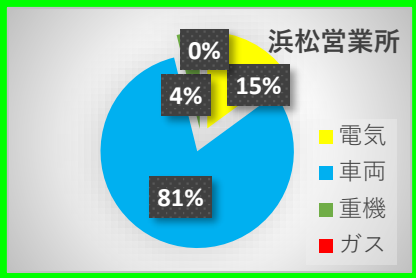
事業所	項目	2022 年度目標		2022 年度実績		評価	二酸化炭素排出量シェア
磐田工場	電気使用率	2.1	kWh/t	1.6	kWh/t	〇	
	軽油燃費(車両)	3.3	km/L	3.4	km/L	〇	
	軽油燃費(重機)	0.10	h/L	0.10	h/L	〇	
	LPG使用量	0.8	m3	0.8	m3	〇	
	CO2排出量	247	t	263	t	×	
	水道使用量	939	㎥	994	㎥	×	
	森林保護活動	2	回	1	回	×	
岡部工場	電気使用率	26.0	kWh/t	18.7	kWh/t	〇	
	軽油燃費(車両)	5.7	km/L	5.9	km/L	〇	
	軽油燃費(重機)	0.19	h/L	0.19	h/L	〇	
	LPG使用量	5.7	m3	4.4	m3	〇	
	CO2 排出量	468	t	475	t	×	
	リサイクル率	76.7	%	75.8	%	×	
	水道使用量	328	m3	254	m3	〇	
	森林保護活動	2	回	1	回	×	
袋井工場	電気使用率	35.1	kWh/t	36.1	kWh/t	×	
	軽油燃費(車両)	6.1	km/L	6.2	km/L	〇	
	軽油燃費(重機)	0.16	h/L	0.15	h/L	×	
	LPG使用量	39.8	m3	27.2	m3	〇	
	CO2排出量	645	t	635	t	〇	
	リサイクル率	62.8	%	63.5	%	〇	
	水道使用量	846	㎥	704	㎥	〇	
	森林保護活動	2	回	1	回	×	
袋井RPF工場	電力使用率	238	kWh/t	234	kWh/t	〇	
	軽油燃費(重機)	0.17	h/L	0.17	h/L	〇	
	LPG使用量	13.2	m3	14.8	m3	×	
	CO2 排出量	1,765	t	1,601	t	〇	
	水道使用量	2,581	m3	3,603	m3	×	
	森林保護活動	2	回	1	回	×	
桜台工場	電気使用率	130	kWh/t	127	kWh/t	〇	
	軽油燃費(車両)	5.3	km/L	5.5	km/L	〇	
	軽油燃費(重機)	0.26	h/L	0.24	h/L	×	
	LPG使用量	24.7	m3	39.1	m3	×	
	CO2 排出量	1120	t	1414	t	×	
	リサイクル率	83.5	%	82.6	%	×	
	水道使用量	3,154	m3	2,662	m3	〇	
	森林保護活動	2	回	1	回	×	

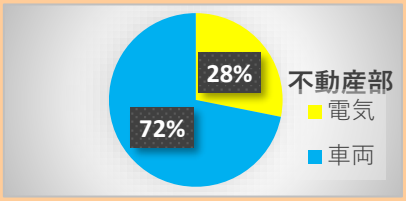
部門別環境経営目標数値の実績と評価③

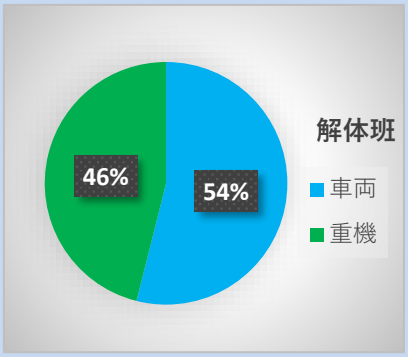
＊〇＝計画通り　×＝未達成　　表6－4

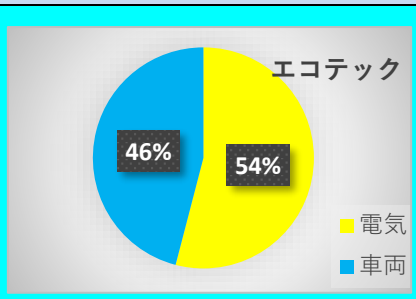
事業所	項目	2022 年度目標		2022 年度実績		評価
浜松営業所	電気使用量	36.2	kWh/t	21.5	kWh/t	〇
	軽油燃費（車両）	4.7	km/L	4.7	km/L	〇
	軽油燃費（重機）	0.33	h/L	0.27	h/L	×
	LPG使用量	12.4	m3	9.5	m3	〇
	CO2 排出量	470	t	498	t	×
	水道使用量	523	m3	494	m3	〇
	森林保護活動	2	回	1	回	×
協同センター	電気使用量	16,961	kWh	13,081	kWh	〇
	CO2排出量	6.5	t	5.0	t	〇
	水道使用量	77	m3	72	m3	〇
	森林保護活動	2	回	1	回	×
不動産部	電気使用量	2,687	kWh	2,402	kWh	〇
	ガソリン燃費	24.3	km/L	20.1	km/L	×
	CO2排出量	2.1	t	2.3	t	×
	水道使用量	24	m3	25	m3	×
	森林保護活動	2	回	1	回	×
解体班	ガソリン燃費	13.6	km/L	13.6	km/L	〇
	軽油燃費（車両）	6.1	km/L	5.7	km/L	×
	軽油燃費（重機）	0.21	h/L	0.10	h/L	〇
	CO2排出量	79.6	t	95.3	t	×
	森林保護活動	2	回	1	回	×
	グリーン購入法の推進	グリーン購入の推進と再生材（砕石、木製品等）の使用				〇
	環境に配慮した施工	工事施工時低騒音型重機、排ガス規制対応重機を使用				〇
エコテック(株)	電気使用量	57,623	kWh	57,746	kWh	×
	ガソリン車燃費	8.9	km/L	10.6	km/L	〇
	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ車燃費	6.5	h/L	5.3	h/L	×
	CO2 排出量	46.1	t	41.5	t	×
	リサイクル率	90	%	94.0	%	〇
	森林保護活動	2	回	0	回	×

二酸化炭素排出量シェア









＜二酸化炭素排出量算出係数＞

電気→0.382(kg-CO2/kWh)　←㈱中部電力 2022 年度調整後排出係数

ガソリン→2.322(kg-CO2/MJ)　軽油→2.619(kg-CO2/MJ)　　LPG→6.214(kg-CO2/MJ)

※2022 年度は、前年の実績を目標値として設定し活動をしてまいりました。結果、車両の燃費及び重機の燃費のみ目標数値をクリアし、その他の項目では目標値をクリアできませんでした。会社の経営目標であるリサイクル率 88%に関しては前年の実績値の+1.0%で終了、目標値まであと▲1.1%となりました。RPF、再生砕石の販売先拡大、製造量増加を実現させ 2023 年度は 88%以上のリサイクル率を目指します。水道の使用量に関しては使用量前年比 119.1%となりました。使用量の傾向として RPF 製造施設のシェアが高く RPF 製造量の増加が水道使用量に影響を与えています。引き続き 2023 年度も前年実績を目標として活動をしてゆきますが RPF の生産状況、異常気象による災害等、状況に変化があった場合は目標値を適切な値に引上げます。森林保護活動に関しては、春の開催が悪天候のため中止となり、年 1 回の開催となりました。2023 年度は春、秋 2 回の開催を予定しています。CO2 排出量は、前年比 104.1%という結果となりました。自粛の呪縛がなくなり経済活動が回復傾向になるにつれ、人、物の移動の活性化、新規作成案件の増加等で燃料使用量が増加したことが CO2 排出量前年比 104.1%の主な要因と考えます。

2023 年度は、大きな変革が無いため、全年の実績値の改善を目標として取り組みを進めてゆきます。

7. 環境関連法規への違反、訴訟等　　確認日　2023 年 6 月 1 日

対象環境関連法規	違　反	訴　訟
水質汚濁防止法（貯油タンク）	無	無
下水道法（第一、桜台、浜松営業所）	無	無
浄化槽法（上記以外の事業所）	無	無
騒音規制法（コンプレッサー、集塵機）	無	無
振動規制法（コンプレッサー）	無	無
悪臭防止法	無	無
高圧ガス保安法（LPG 利用事業所）	無	無
消防法（貯油タンク、RPF、BDF 等）	無	無
PCB 特別措置法	無	無
フロン排出抑制法	無	無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	無	無
家電リサイクル法	無	無
建設リサイクル法	無	無
自動車リサイクル法	無	無
オフロード法	無	無
NOx、PM法	無	無

＊違反等は、過去3年間ありません。　　事務局　鈴木高史

8. 住民協定への違反、訴訟等確認日　　確認日　2023 年 6 月 1 日

周辺住民、自治体等との協定		違　反	訴　訟
大川工場	天竜川水質保全に関する協定書（漁業組合）	無	無
岡部工場	環境保全協定書（藤枝市岡部町）	無	無
	町内会との協定書（藤枝市殿町）	無	無
	近隣地主との覚書	無	無
袋井工場	環境保全協定書（袋井市）	無	無
	自治会との協定書（袋井市村松西自治会）	無	無
桜台工場	環境保全協定書（和地地区自治会連合会）	無	無

＊ステークホルダーとの訴訟事件等は、過去3年間ありません。　　事務局　鈴木高史

9 代表者による全体の評価と見直しの結果（マネージメントレビュー）

㈱ リサイクルクリーン
12.代表者による全体の評価と見直し

EAR-13-01

2022年度　第1回　マネジメントレビュー

マネジメントレビューの記録

承　認	確　認	作　成
太藤郎城	山田知毅	山田知毅
〈社　長〉	〈責任者〉	〈責任者〉

作成:　2023年6月19日

	報告事項	担当	報 告 内 容
インプット情報	a) 外部審査／内部監査の結果、法的要求事項及びその他の要求事項の順守評価の結果	責任者	2022年7月に実施された中間審査に於いては特段の指摘事項はありませんでした。
			2023年4月に実施された内部監査に於いて、23件の改善の余地を指摘をされた。不適合に該当するものはありませんでしたが今回からエコテックが加わりあまり準備できておらず指摘件数が増えました。
	b)事故・苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション	〃	・2022年10月桜台工場近隣住民から騒音と異臭のクレーム ・2023年2月ミサワホーム様現場から発生のアスベストを誤って袋井工場へ搬入し破砕後ミダック安定型処分場へ処分してしまった。 ・2022年9月一条工務店様機密書類のフックロール交換後運搬する際上部の蓋から機密書類を飛散させてしまった。 ・王子マテリア富士工場へ納入したRPFに別の廃棄物を混入させてしまった。
	C) 環境活動計画の達成状況	職場長	2021年の実績数値を基に目標数値を設定しました。 電気事務所が若干未達になりました。気温の変化でエアコン使用状況が変わったのではないかと思います。 リサイクル率については88%目標に対して86.7%と未達になりました。 今期前半の数値が悪かったが後半RPF量が増えて数字が良くなっています。
	D) 本マネジメントシステムに影響のある変化している周囲の状況	〃	2022年4月1日より始まった「プラスチック新法」に係わる資源循環の普及。

	変更の必要性	決定及び処置	処置の検証（責任者）
アウトプット	① 環境経営方針 □要／☑不要	変更なし	太藤郎城 検証:2023年6月21日
	② 環境経営計画、目標 □要／☑不要	変更なし	太藤郎城 検証:2023年6月21日
	③ EA21のその他の要素 □要／☑不要	内部監査で指摘された内容を確認した。クレーム対応の見直し	太藤郎城 検証:2023年6月21日
	④ 実施体制の見直し □要／☑不要	変更なし。メンバー、体制変更なし。	太藤郎城 検証:2023年6月21日

【備　考】

保管　3年間

添付資料

環境経営目標及び環境経営計画の策定

㈱ リサイクルクリーン
4.環境目標及び環境活動計画の策定

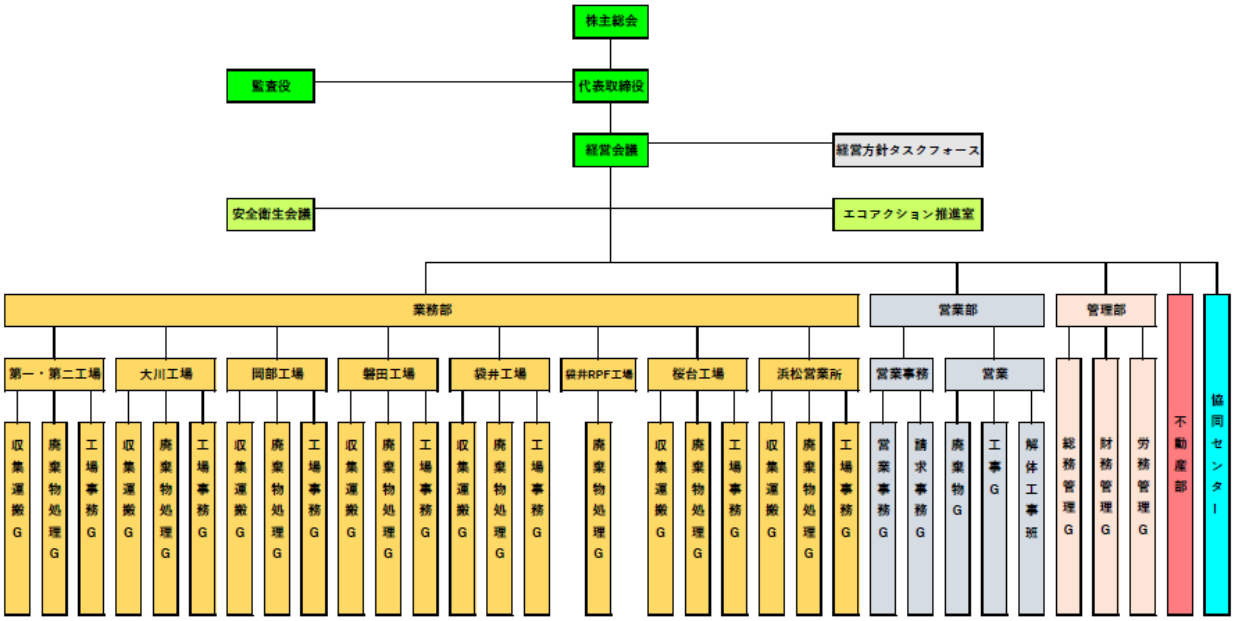
EAB-5-01

2023年度 EA21 全社環境経営目標

改定	2021年6月1日	改訂
改定	2020年6月1日	改訂
改定	2019年6月1日	改訂
改定	2021年6月1日	改訂
制定	2011年6月1日	新規制定

承認	作成	作成
藤城太郎	山田知毅	鈴木英史
（総括責任者）	（責任者）	（事務局）

No.	方針との関係	全社環境目標	2022年度 施策	担当	日程 上期	日程 下期	2023年度 施策	担当	日程 上期	日程 下期	2024年度 施策	担当	日程 上期	日程 下期
1		二酸化炭素排出量の削減 2022年度のCO2の排出目標は2021年度の排出量で設定。6,074,649kg－CO全年△0.1%ずつ減量する ※今年度より事業所追加(㈱エコテック(100%子会社)	①節電活動を推進する	山田	電気使用量の削減		①節電機器を導入する	山田			①節電機器を増加する	山田		
			②省エネ運転を推進する	山田	燃費の向上		②省エネ運転を徹底する	山田			②省エネ運転を定着させる	山田		
			③省エネ車両、重機を導入する	市川 事務部長			③省エネ車両、重機を導入する	市川 事務部長			③省エネ車両、重機を導入する	市川 事務部長		
	1)		目標値 6,199,427 kg-CO_2 効 果 100.0%（対2022年度実績）				目標値 6,193,228 kg-CO_2 効 果 △ 0.1%（対2022年度目標）				目標値 6,180,841 kg-CO_2 効 果 △ 0.2%（対2022年度目標）			
2		廃棄物のリサイクル率向上 (㈱リサイクルクリーン) 2022年度もリサイクル率の目標を88%以上に設定し維持する。	①全分別ルールの再教育	山田	分別ルールの見直し再教育実施		①全分別ルールの再教育	山田	手順書に基づく分別ルールの教育実施		①全分別ルールの再教育	山田	手順書に基づく分別ルールの教育実施	
			②再資源化の出荷量の拡大	山田	再資源化品目の再教育実施		②再資源化の出荷量の拡大	山田	再資源化品目の再教育実施		②再資源化の出荷量の拡大	山田	再資源化品目の再教育実施	
			③RPF、再生砕石製造量の維持拡大	山田 各部門長	マテリアルリサイクル プラスチックの再教育実施		③RPF、再生砕石製造量の維持拡大	山田 各部門長	マテリアリサイクル品目の分別徹底化・再教育		③RPF、再生砕石製造量の維持拡大	山田 各部門長	マテリアリサイクル品目の分別徹底化・再教育	
	2)		目標値 88 %(リサイクル率) 効 果 ＋ 1.1 %(対2022年度実績)				目標値 88 %(リサイクル率) 効 果 ＋ 1.1 %(対2022年度実績)				目標値 88 %(リサイクル率) 効 果 ＋ 1.1 %(対2022年度実績)			
3		廃棄物のリサイクル率向上 (エコテック(㈱)) 2022年度	①全分別ルールの再教育	坂田	分別ルールの見直し再教育実施		①全分別ルールの再教育	坂田	分別ルールの見直し再教育実施		①全分別ルールの再教育	坂田	分別ルールの見直し再教育実施	
			②素材分別の徹底	坂田	効率的、効果的に分別を実施		②素材分別の徹底	坂田	効率的、効果的に分別を実施		②素材分別の徹底	坂田	効率的、効果的に分別を実施	
	2)		目標値 94.0 %(リサイクル率) 効 果 94.0 %(2022年度実績)				目標値 94.0 %(リサイクル率) 効 果 94.0 %(2022年度実績)				目標値 94.0 %(リサイクル率) 効 果 94.0 %(2022年度実績)			
4		総排水量の削減 2022年度の目標値を11,187㎥に設定し、毎年0.1%ずつ減少させる。	①節水活動を推進する	山田	水道使用量の削減		①節水活動を徹底する	山田	水道使用量の削減		①節水活動を定着させる	山田	水道使用量の削減	
			②灌水の点検/修理を実施する	山田			②灌水の点検/修理を実施する	山田			②灌水の点検/修理を実施する	山田		
				山田				山田				山田		
	1)		目標値 12,743 m3 効 果 100%（対2022年度実績）				目標値 12,730 m3 効 果 △ 0.1%（対2022年度目標）				目標値 12,705 m3 効 果 △ 0.2%（対2022年度目標）			
5		環境保全活動の推進 森林保護育成活動及び清掃活動を各2回/年実施する。	①環境保全活動計画の承認	北島 部門長	計画立案～承認		①環境保全活動計画の承認	北島 部門長	計画立案～承認		①環境保全活動計画の承認	北島 部門長	計画立案～承認	
			②環境保全活動の実行計画作成	北島 部門長	実行計画作成		②環境保全活動の実行計画作成	北島 部門長	実行計画作成		②環境保全活動の実行計画作成	北島 部門長	実行計画作成	
			③環境保全活動計画の実行	北島 部門長	ボランティア活動の実践		③環境保全活動計画の実行	北島 部門長	ボランティア活動の実践		③環境保全活動計画の実行	北島 部門長	ボランティア活動の実践	
	2)		目標値 各 2 回/年				目標値 各 2 回/年				目標値 各 2 回/年			
6		グリーン購入法の推進 物品の購入の際は、「グリーン購入法」適合の物の購入を推進する。	①物品購入時、グリーンマークがあるか確認	佐藤 部門長	都度確認		①物品購入時、グリーンマークがあるか確認	佐藤 部門長	都度確認		①物品購入時、グリーンマークがあるか確認	佐藤 部門長	都度確認	
			②コストとのバランスを考慮し購入	佐藤 部門長			②コストとのバランスを考慮し購入	佐藤 部門長			②コストとのバランスを考慮し購入	佐藤 部門長		
			③再生材を使用する（建設工事、砕石、木材等）	佐藤 部門長			③再生材を使用する（建設工事、砕石、木材等）	佐藤 部門長			③再生材を使用する（建設工事、砕石、木材等）	佐藤 部門長		
	2)													
7		環境に配慮した施工 工事施工の際の重機は必ず環境に配慮した重機を使用する	①騒音振動粉塵防止への配慮	佐藤 部門長	都度確認		①騒音振動粉塵防止への配慮	佐藤 部門長	都度確認		①騒音振動粉塵防止への配慮	佐藤 部門長	都度確認	
			②低騒音型重機の使用	佐藤 部門長			②低騒音型重機の使用	佐藤 部門長			②低騒音型重機の使用	佐藤 部門長		
			③排ガス規制対応重機の使用	佐藤 部門長			③排ガス規制対応重機の使用	佐藤 部門長			③排ガス規制対応重機の使用	佐藤 部門長		
	2)													

会社組織図

株式会社リサイクルクリーン　2023年度　組織図